

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画書を元に、子ども一人ひとりに療育が計れるよう、職員間同士で見直しを行えている。	日々の活動の中で、前半は個別プログラム(一人ひとりに合ったプリントの提供)後半は集団活動は(ルールや順番)を提供している。	偏らずに、毎日、職員と振り返りをし、意見を合わせ活動を決めていく。
2	平日、休日と活動を変え季節や月行事に応じて活動している。	毎週土曜日は“ウイズの日”として平日に活動出来ない事に挑戦している。(多機能型、公共機関の体験、クッキング体験、買い物体験等)	職員の配置や、社用車を増やし、参加出来る人数を増やしていく。
3	『ほうれんそう』(報告・連絡・相談)がしっかり出来ている。	施設長、児発管、社員、パートと関係なく意見が飛び交う関係性が保てている。	施設長や児発管を中心に半年に一度、面談を行い継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数や配置数が少ない時がある。	体調不良者が出てしまうと、送迎や安全面に問題がある時が出てしまう。	職員の健康管理の徹底の為の声掛けを日々、行っていく。また、職員数の増加も検討していく。
2	研修への参加不足。	市区町村で設けられている研修へ積極的に参加する。	常に発信を見逃さないように心がける。
3	父母の会や、地域交流が実施出来ていない。	保護者様へ面談や交流の場を設け、保護者様の意見を今後の課題としていく。	地域新聞やチラシ等の発信をしっかりと把握し、必要であれば参加をしていく。